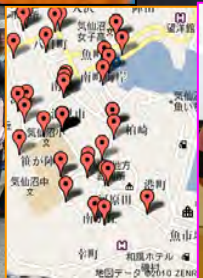
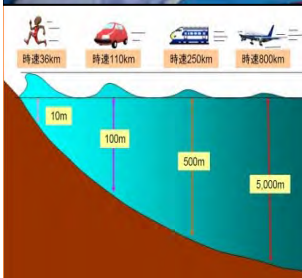
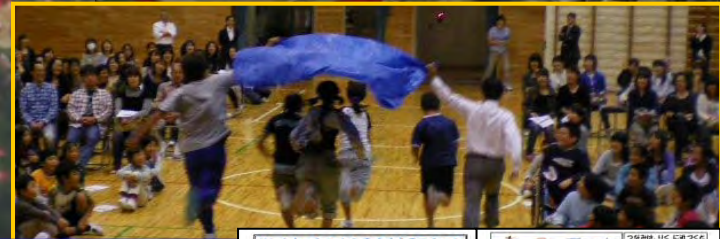
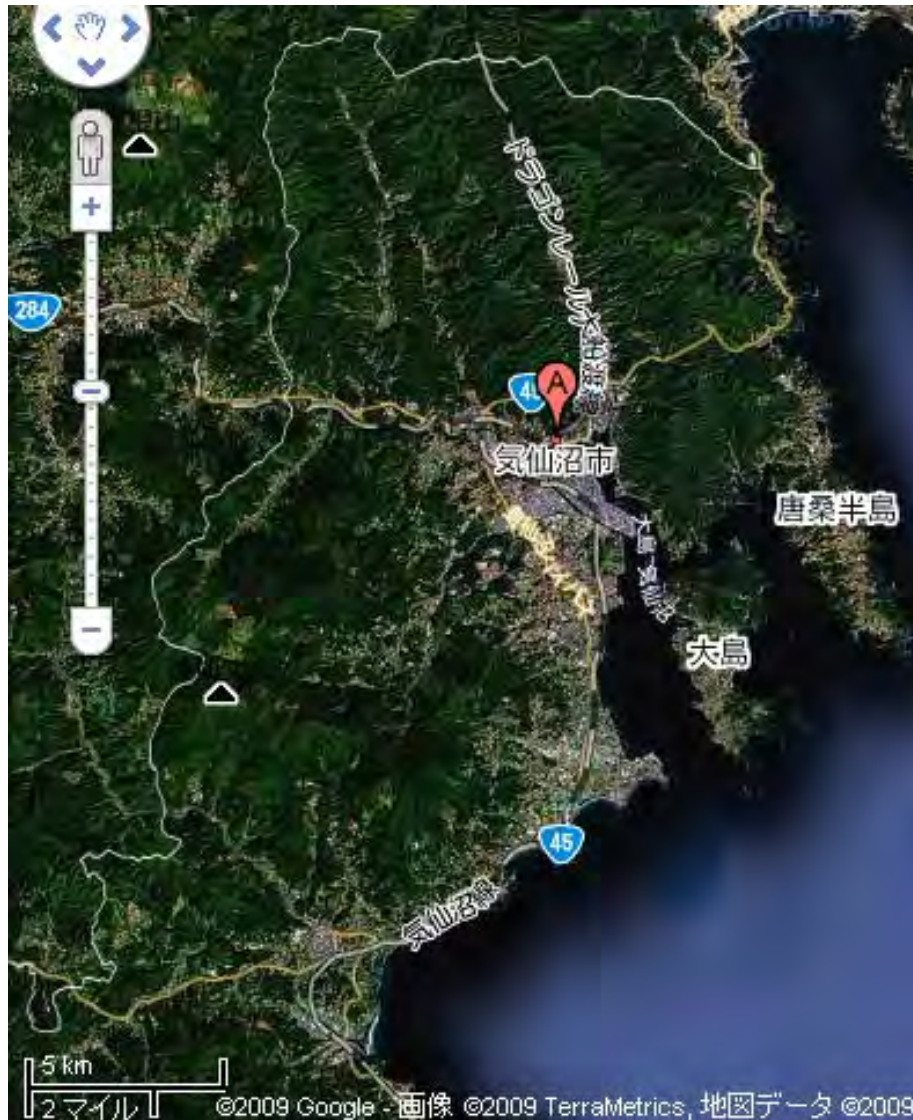


防災教育交流フォーラム 気仙沼市

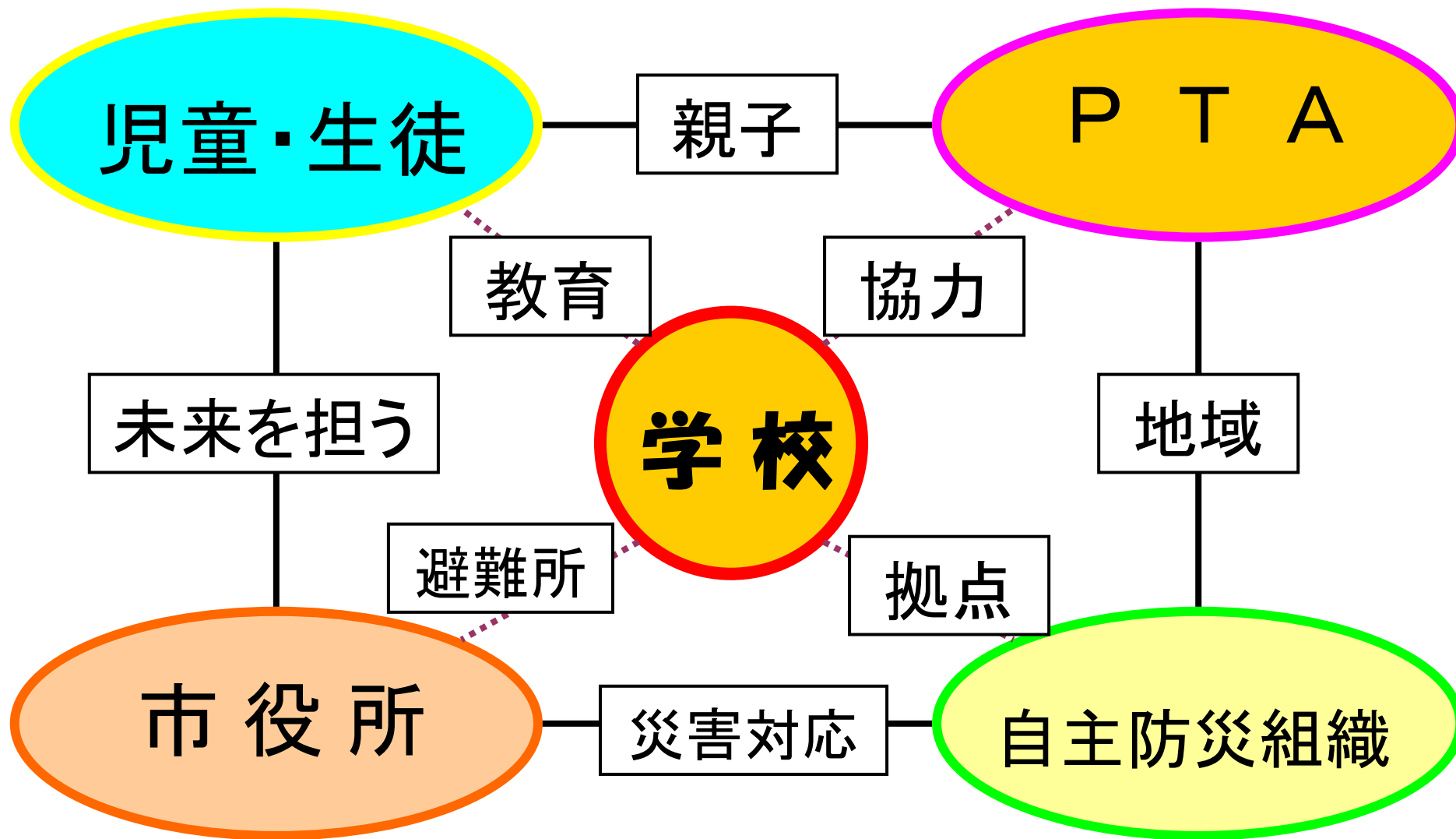
被災地からのメッセージ ～防災教育の効果～



気仙沼市とは



「学校」を『核』とした地域防災力の向上



ぼう
「防」

さい
「災」

ふせぐ、守ること

洪水、津波、火事
地震など困ること

ぼうさい べんきょう
「防災」を勉強すること、
それは「いのち まも
命を守ること」です。

防災教育の支援の際に、最初に子供たちに言ってきた言葉

H16年度 階上中学校 「地域の防災アンケート」

地震体験や、備蓄について質問



H16年度 階上中学校 防災発表会(マップ、アンケート)



調査結果や課題、防災3箇条を発表した。

月立小学校：防災キャンプ（親子・地域住民）



階上中学校：総合防災訓練（地域住民も参加）

避難所班：畳を敷いたり、段ボールでプライバシー対策



救出班・救護班：負傷者の搬送、問診票の作成



テント・トイレ班：本部の設置、オリジナルテント・トイレの作成



炊き出し班：レンガのかまど、空き缶で炊飯、配給



階上中学校：津波体験者の話、小学生への指導



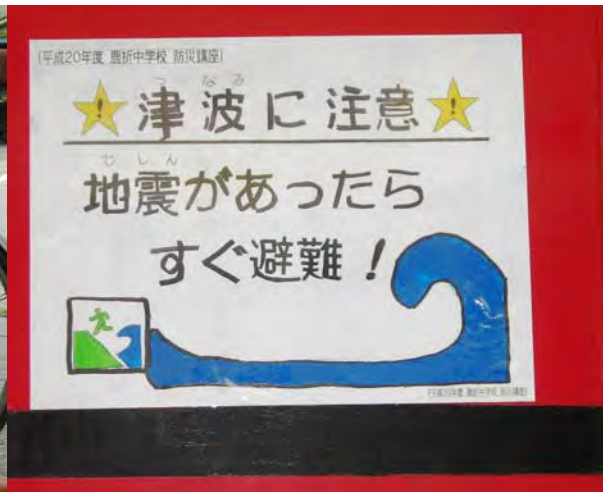
浦島小学校：登下校時の地震・津波避難訓練



気仙沼小学校（3年生）：ぼうさいマップ作成・発表



鹿折中学校：防災看板の作成・設置



応急手当を学ぶ



簡易炊き出し



■ 階上中学校：中学生が助ける側との意識、住民参加



■ 階上中学校：実践型避難所運営訓練



■ 関係機関との連携、親子防災教育の実施

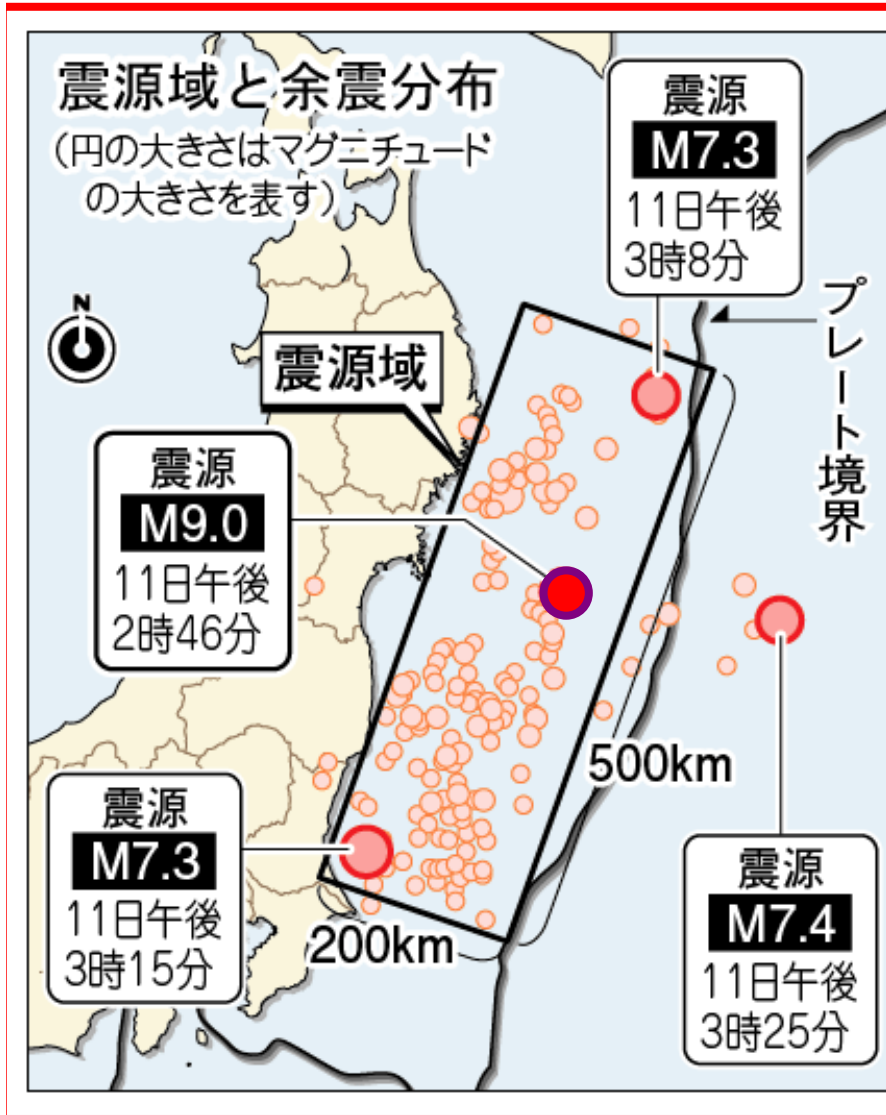


■ 唐桑半島ビジターセンターの活用

(防災カルタ、サバメシ、語り部、津波の高さ、津波の速さ)



□ 東北地方太平洋沖地震について



東日本大震災の概要

- ・発生：平成23年3月11日(金)
14時46分ごろ
- ・震源：北緯38度,東経142.9度,
深さ24km
- ・マグニチュード：9.0
- ・気仙沼の震度：(気象庁)
〔赤 岩〕 6 弱
〔笹が陣〕 5 強
〔本吉町〕 5 強

□ 被害状況について〔平成23年10月6日現在〕

■ 気仙沼市

● 死者数: 1, 027人

● 行方不明者数: 計375人

▪ 住家被災棟数: 14,437棟

▪ 被災世帯数 : 9,500世帯 (推計)

■ 全 国 〔内閣府: 9月20日現在〕

● 死者数: 15, 799人

● 行方不明者数: 4, 053人

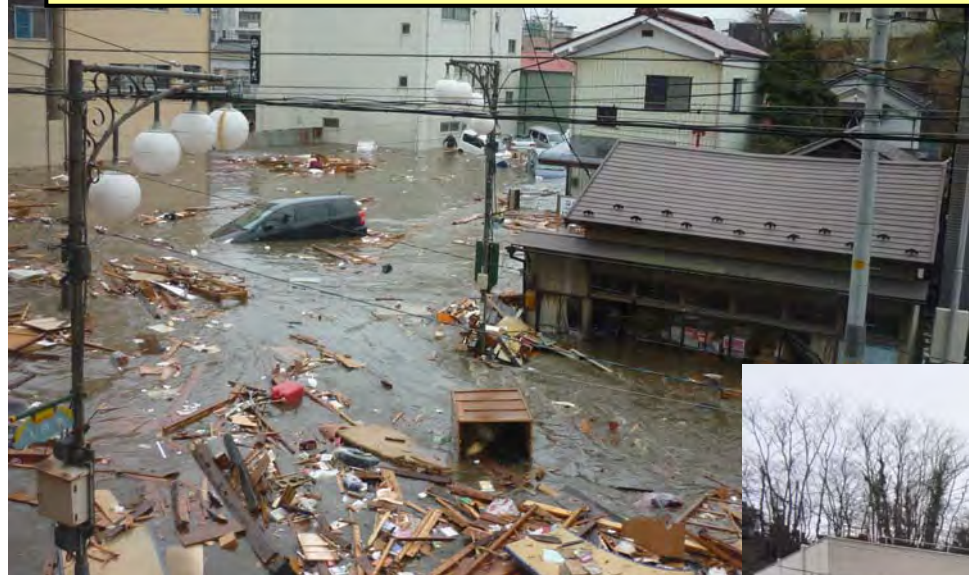
□ 市役所第二庁舎前（大津波警報直後、津波到達前）



まさか来ないだろうと余裕が伺えます。

□ 市役所のすぐ前の通り

→市役所も孤立。状況調査・救援活動に行けない



□ 雪が降り屋上に避難した方は寒さに震えました。



実際の津波の映像：魚市場屋上から撮影2011.03.11



魚市場屋上から撮影した内湾の津波の様子



市役所屋上から撮影した内湾の火災の様子



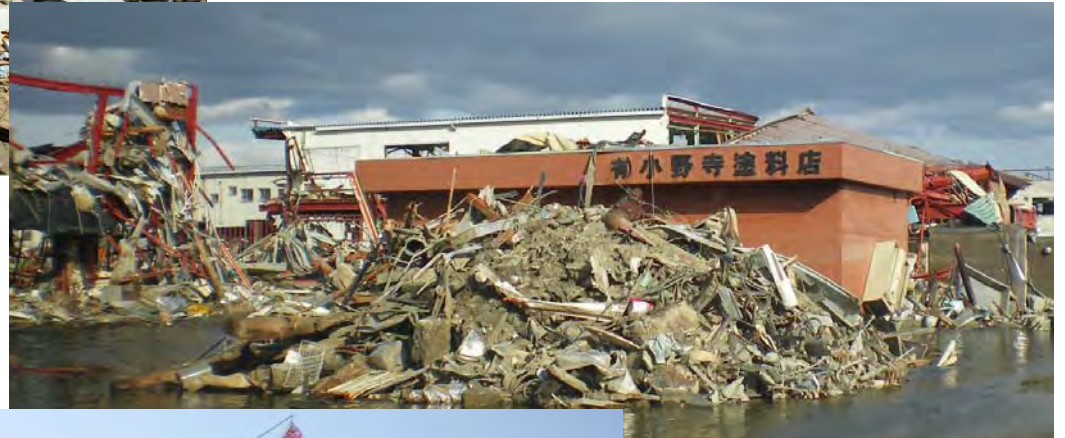
懸命の消火活動



住宅地(鹿折地区)を
襲う火災



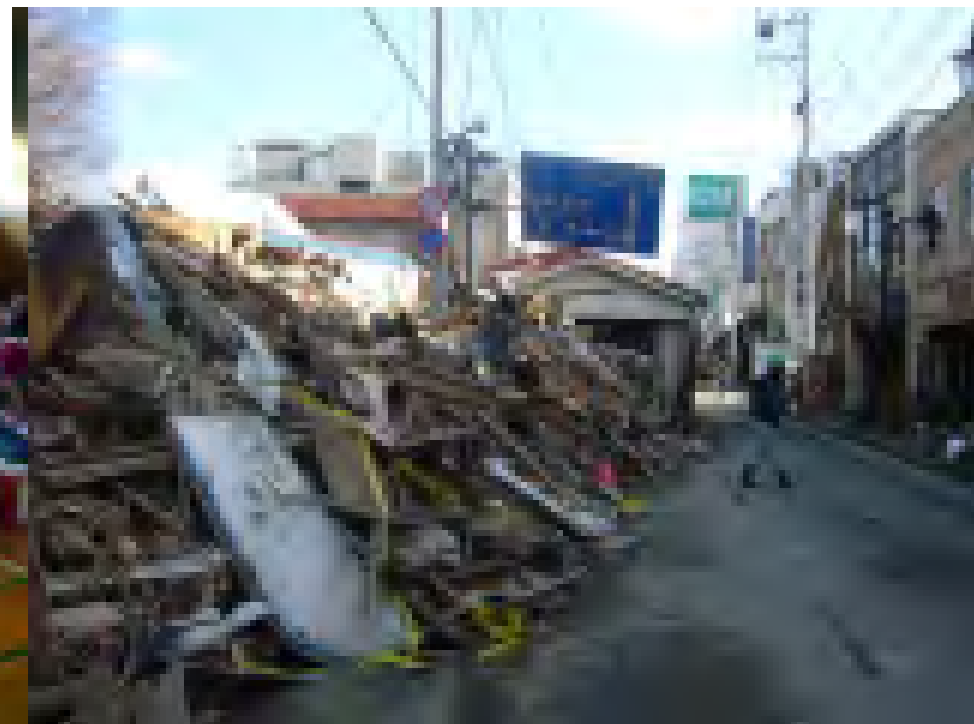
□ 散乱するガレキ





330t 60mの船が、海から800mも離れたところまで移動しました。
(家々を破壊しながら)

停電でジェットヒーター使えず、
小さなストーブのみ



□ 地盤沈下した道路の応急対策

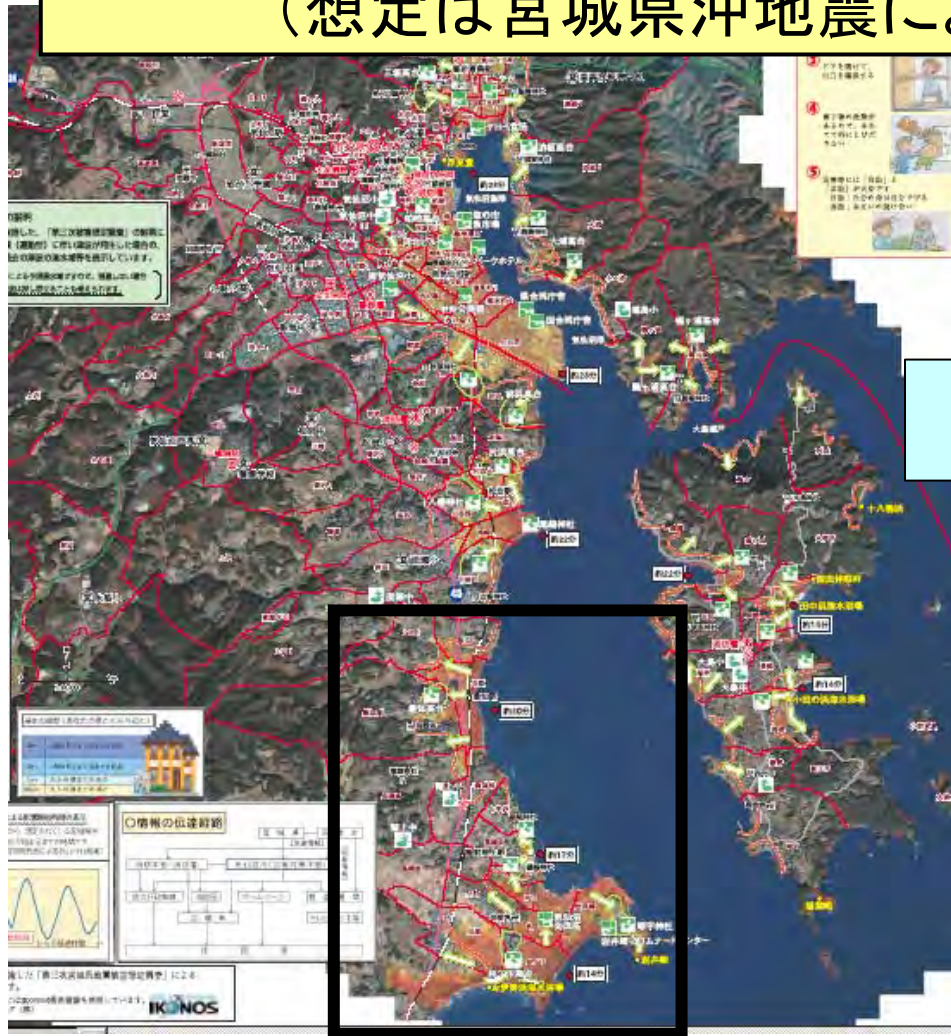


□ 地盤沈下と高潮による冠水の状況



実際の浸水区域、津波高さは想定以上に

(想定は宮城県沖地震によって引き起こされる津波)



階上中

向洋高校





向洋高校

4階の窓まで津波が到達。16～17mの津波が襲ったと推測されます。



階上中学校の状況：最多時は、約1,600名が滞在
〔食糧供給まで含めると約2,000名。全教室を使用。〕



配食の手伝いなど。また、卒業生がボランティアにかけつけた。



避難者もいる中での「卒業式」



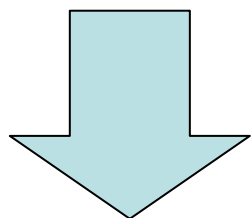
防災教育を行うことで、地域の災害に関する危険を知り、地域を嫌いになるのではなく、地域への思いが高まったようです。

□児童・生徒に関する死者・行方不明者数

13名（小学校7名、中学校5名、幼稚園1名）

※ 学校管理下における被害者数：0名

- ・家族を心配するあまり、家に戻って被災し亡くなった子どもや、子どもを迎えに来て学校から連れ帰り、被災した家族もありました。



このようなことから、今後の取り組みにかかる重要点として

- ◎ 「つなみてんでんこ」の強調
- ◎ 災害のイメージ化
- ◎ 子供だけではなく、大人の意識も

全国の皆さんへ

3月11日に発生した「東日本大震災」により、東北の沿岸地域では甚大な被害を受けました。

予想をはるかに超える大きな津波により、多数の尊い命が犠牲となりましたし、まちの機能は完全に停止しました。

現在、多くの皆様の支援をいただきながら少しずつ復旧・復興に向けた取り組みを進めているところです。

全国の皆様からご支援をいただいておりますことに、感謝の言葉を言い尽くせない思いです。

いつかまた、皆様においしい魚をご提供したり、美しい景観をご覧いただけるよう努めてまいります。

皆様のお心遣いに感謝申し上げます。これからもよろしく願いたします。

気仙沼市 市民一同